

チリ共和国サンティアゴ市レンカ区-富山市に関する 都市間連携

富山市とレンカ区は、OECD会議をきっかけに2019年に都市公園や環境に関する協定を結び、COP25などの機会に協議を続けてきた。本都市間連携事業では、レンカ区が抱える課題に富山市のSDGs未来都市計画の知見や経験、および市内企業が有する技術を通じて環境面、社会面、経済面それぞれから貢献することを目的としている。本年度は、①レンカ区のRace to ZeroやSDGsに関する取組み支援及び、②JCM案件形成支援として水素モビリティの導入検討及び太陽光発電設備導入の検討を実施した。

チリ国レンカ区

脱炭素に関する取組み

- 2021年10月に、レンカ区はチリ国で初めて**Race to Zero**キャンペーンへの参画を表明し、社会・経済・環境における変革に積極的に取り組んでいる。
- カーボンニュートラル達成に向けた地域計画として、2007年よりエネルギー戦略、気候変動計画、持続可能なモビリティ戦略等の策定を進めている。
- GHG削減の地域目標設定のため、ベースラインの策定を進めており、民間企業への働きかけを積極的に行っている。



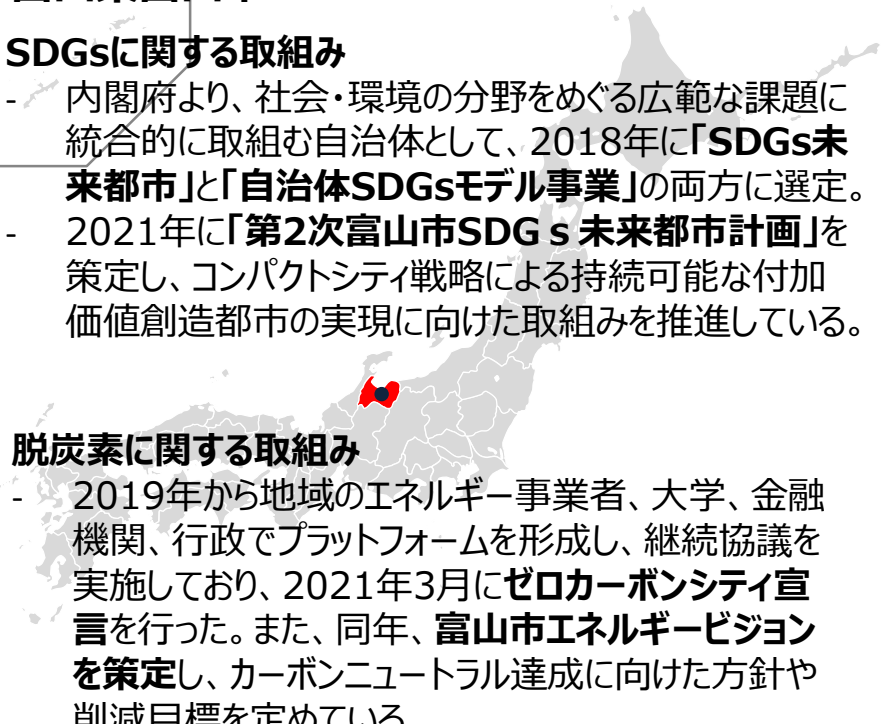
富山県富山市

SDGsに関する取組み

- 内閣府より、社会・環境の分野をめぐる広範な課題に統合的に取り組む自治体として、2018年に「**SDGs未来都市**」と「**自治体SDGsモデル事業**」の両方に選定。
- 2021年に「**第2次富山市SDGs未来都市計画**」を策定し、コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現に向けた取組みを推進している。

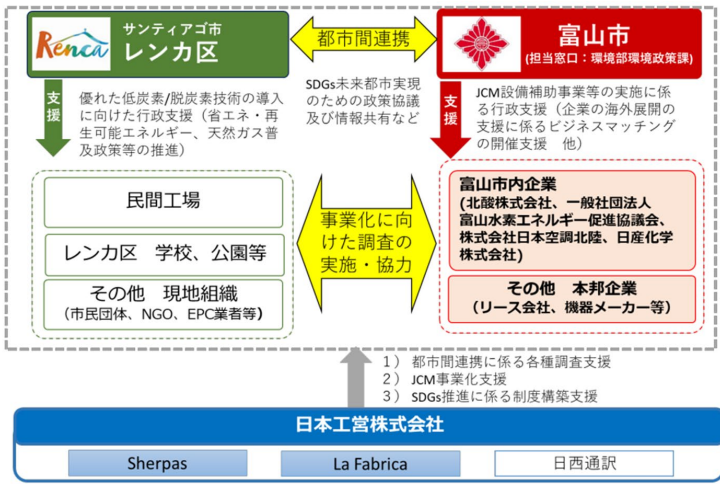
脱炭素に関する取組み

- 2019年から地域のエネルギー事業者、大学、金融機関、行政でプラットフォームを形成し、継続協議を実施しており、2021年3月に**ゼロカーボンシティ宣言**を行った。また、同年、**富山市エネルギービジョン**を策定し、カーボンニュートラル達成に向けた方針や削減目標を定めている。



チリ共和国サンティアゴ市レンカ区-富山市に関する都市間連携

【体制図】

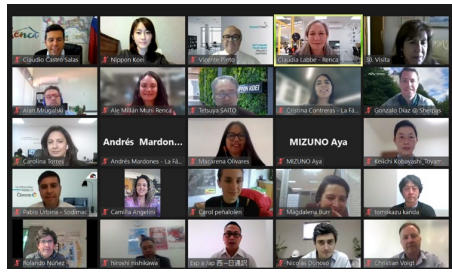


【事業活動・成果】

＜都市間連携活動＞

- **Race to Zero/ Zero Carbon City**セミナーを開催し、レンカ区内企業に対して**Race to Zero**に関する情報提供と官民連携の重要性の共有を行った。また、両自治体の取組み内容の共有及び**官民連携事例**として、**企業による脱炭素への取組み事例の共有**を実施した。
- レンカ区と富山市で、計3回の**技術会議**を実施し、富山市エネルギービジョンの策定プロセスやKPI設定手法の紹介を行った。
- 自治体向けSDGs評価ツール「TSUMUGI」を活用し、**レンカ区のSDGsへの取組み評価**を実施し、現状及び課題分析を行った。

【写真】



Race to Zero/ Zero Carbon City Seminar



レンカ区長のジャパンパビリオン登壇の様子@COP26

＜JCM案件形成＞

- レンカ区の高齢者用の交通手段として、**水素モビリティの導入検討**を継続し、FCバス/自動車の導入や運用体制、水素ステーションに関する検討を行った。
- レンカ区公共施設及び区内企業の工場への**屋根置き太陽光発電の導入検討**を実施。ESCO事業者の参画を想定し、案件形成に向け関係者協議を継続した。